

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	5 安全な港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾管理事務所コンテナ担当課長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上		事務事業	成果	コスト	連絡先	0567-55-2953
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する		継続	維持	維持	連携課	港営課、管理課、工事課、港湾工事事務所
事務事業名	07 荷さばき地の管理運営(コンテナターミナル)					事業期間	昭和43年度～継続
目的	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナルを適切に管理し、利用者が使用しやすい状態を保ちます。					根拠法令等	名古屋港管理組合港湾施設条例
概要	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修箇所について、利用者の要望を聞きつつ、優先順位を定めて実施します。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	飛島ふ頭北・南公共ターミナル内(荷さばき地・DP・通路等)の補修を予定しています。また、必要に応じて緊急の修繕や補正等の要求により、迅速で効率的・効果的な補修を行なっていきます。					関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	平成25年度は、飛島ふ頭北・南公共コンテナヤードの荷さばき地・DP・通路等の補修を行いました。また、利用者から強い要望のあった北・南コンテナヤードの轍等の緊急補修も行い、利用者が使用しやすい状態を保つよう努めました。ヤードの陥没や轍が原因で発生した重大事故はありませんでした。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	24,195	80,692	42,904	52,336	126,396	326,523	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/施設補修費/工事請負費
一般会計	千円	24,195	80,692	42,904	52,336	126,396	326,523	
事業会計	千円							
その他	千円							(算出計算式)
人員費計	千円	8,754	9,084	9,201	9,672	10,194	46,904	事業費 関連する工事費の合計 人員費 業務に対する割合
正規職員	人	1.02	1.02	1.02	1.02	1.12		
嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.20	0.10		(その他)
合計	千円	32,949	89,776	52,105	62,008	136,590	373,427	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)	
飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修面積(m <sup>2</sup> )	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		4,000	目標数値は、ヤードの利用状況によって変わってくるため、具体的に定めることは困難であることから、平成19年度の実績数値を目標数値としています。	
	実績	2,716	13,662	5,589	7,444	12,037				
	達成率(単年度%)	67.9	341.6	139.7	186.1	300.9				
飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル内事故件数(件)	目標	0	0	0	0	0		0	コンテナヤードの陥没、轍が原因で発生した重大事故の件数を把握します。	
	実績	0	0	0	0	0				
	達成率(単年度%)	0	0	0	0	0				
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項		
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		飛島ふ頭コンテナヤードは公共コンテナヤードであるため、本組合が関与すべき必要性があります。またコンテナ貨物は今後とも増える傾向にあり、蔵置場所としてのヤード等補修は利用者ニーズが非常に高く、安全確保の面からも必要であります。						公共コンテナターミナルの公設民営化の中においても整理すべき課題と考えます。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		ヤードの陥没・轍が原因で発生した重大事故はないため、目標を達成していると考えます。						
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		補修面積は、施設の利用頻度・老朽化等の問題もあり実施面積が多くなってきています。						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		個別施策である「港湾施設の機能を維持・強化する」にも十分貢献していると考えます。						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		効率的な運営主体については、今後検討していく必要があります。						
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		補修工事の財源は、利用者からのヤード使用料でまかなうにしています。						
	効率的な運営主体となっているか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ✓		補修工事実施にあたっては、利用者の希望を聞き、優先度の高い箇所から補修を行い費用対効果を考慮しながら実施しています。						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続・統合	➡	➡	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・公共コンテナターミナル及び受変電設備の維持管理に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
ターミナル内工事に伴う使用状況の変化を考慮し、利用者との調整を蜜に行うなど、荷さばき地の利用状況や利用者のニーズに配慮しつつ、優先順位を付して補修要求を行ないます。また、港営課・工事課等と協議をし、投資効果を考慮した効率的で効果的な補修を行い、事故のない良好な施設提供に努めます。				